

第1回策定会議の意見振り返り

【凡例】赤文字：地震 青文字：津波・風水害 緑文字：土砂災害 黒文字：その他全般

項目	第1回策定会議で出された意見	
①災害の基礎知識・ 基礎情報	<ul style="list-style-type: none"> ・液状化の状況と避難の方法 ・津波想定水位（浜名湖畔、気賀沿岸部等） ・測定ポイント以外の河川水位状況 ・浜北区と三方原台地の境界部（崖地）の危険性の周知 ・正確な情報の掲載（知識も含め） ・自分が住む地域の地盤、地形を知る ・避難勧告の具体的な発令基準 ・液状化発生時の対応 ・竜巻に関する知識（対応） 	
②その他の知識	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地における避難所の選定方法 ・生活道路（都田川の橋梁等）の被害予測 ・非常持ち出し品の確認 ・救助方法 ・加入している保険内容の熟知 ・過去の言い伝えを活かす ・消防団に対する理解、自主防災組織や自治会の役割の周知 ・防災訓練のあり方や参加の重要性 	
③意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え、行動する力を養う ・地域・人づくり、向こう三軒両隣の重要性（共助）、ご近所パワー ・コミュニティ ・住民意識の向上 ・日頃の防災訓練のあり方 ・災害時の行動を考える 	
④情報収集・伝達	<ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告等の情報の伝達方法 ・降雨量、河川水位、山崩れ等の情報 ・家族との連絡方法 ・同報無線以外（豪雨、強風で聞こえにくい）の情報伝達手段（受信機や防災ほつとメールなど） ・指定避難所以外に避難している人への情報伝達 ・情報伝達手段の複数確保 	
⑤発生前の減災方法	<ul style="list-style-type: none"> ・家具・家財等の転倒防止対策の徹底 ・地震時に火を出さないための注意 	
⑥災害発生後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・まず避難する 	
⑦防災マップ	<ul style="list-style-type: none"> ・潮位、海抜 ・正確な災害危険箇所を掲載（デフォルメしたイラストなどでマップ作成） ・災害に併せた避難地・避難所（分りやすく表示） ・ボランティアセンター設置場所と役割 ・道路幅員（色を分けて表示） ・貯水槽、消火栓 	
⑧高齢者・要援護者・ 災害弱者	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者の安全確認 ・山間地における高齢者世帯の対応 ・高齢者や要援護者の支援（共助） ・要援護者の避難方法 ・災害状況意思表示（リボン立て）の活用 	
⑨冊子の体裁・表現方法	<ul style="list-style-type: none"> ・震度別の絵や写真で分りやすく表現 ・沿岸部、都市部、山間部で区分 ・子供も避難できる分かりやすい内容 	
●今後の課題（別途検討が必要な事項）		
ソフト対策	<ul style="list-style-type: none"> ・津波に対する日頃の避難訓練の実施 ・区役所が被災した際の対応 ・第2、第3の本部の設置位置 ・避難所開設（運営）の訓練の必要性 ・避難後の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の相互連携の必要性 ・具体的な避難訓練の実施（避難所運営、リーダー育成） ・コミュニティセンターへの物資搬送
ハード対策	<ul style="list-style-type: none"> ・低地部における津波避難場所の確保 ・津波高さを表す看板の設置 ・釣橋川の浚渫による氾濫防止 ・土砂災害ハザードマップに対応した現地への案内の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・急傾斜地危険区域内の避難所見直し ・危険区域にある家屋の移転 ・避難所の安全性確認（自治会による） ・天浜線の避難路としての活用